特集

秋季 自動車整備士教育

人手不足を解消する〝要〟として

一段と期待高まる整備士養成校

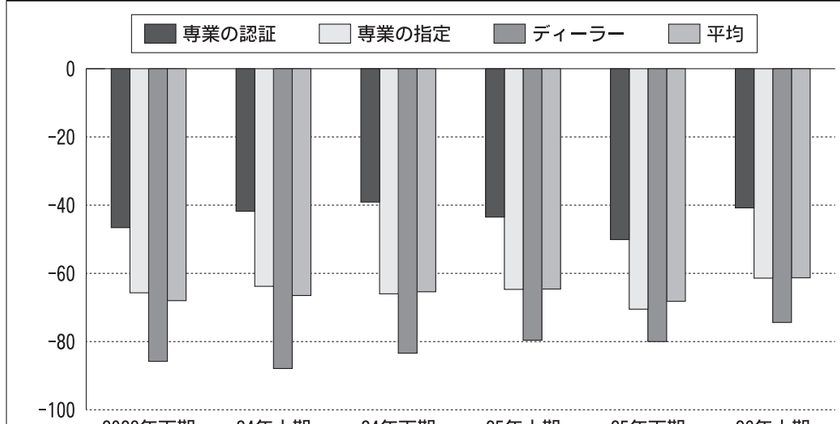
整備業界の人手不足感が解消しない。日本自動車整備振興会連合会（日整連、喜谷辰夫会長）が9月に公表した2026年上期（1～6月）の整備士の過不足感DI（業況判断指数＝プラスと回答した事業者の割合からマイナスを引いた数値）は、前回比6・9ポイント増のマイナス61・3だった。前回より改善したものの、高い数値を維持した。整備士不足が続く中、メカニックの育成に取り組む整備士養成校への期待が一段と大きくなりそうだ。

日整連は業界全体の景況感などを上期と下期（7～12月）ごとに調査し、定期的に公表している。ここ数年、各半期の整備士の過不足感DIは21年下期（マイナス58・0）までさかのぼる。一時的に改善することはあってもその流れは続かず、人手不足の厳しさを裏付ける。

業態別では、「ディーラー」のマイナスが目立つ。26年上期はマイナス74・4だった。「専業の認証」のマイナス44・8、「専業の指定」のマイナス61・4を大きく上回った。近年、新車ディーラー各社は入庫拡大や車検獲得に努めている。サービス部門を強化しており、労働力の不足が専業よりも顕著なもようだ。

整備現場の人手不足感が改善しない中、整備士養成校に向けられる期待は年々膨らんでいる。あるディーラーのトップは「各学校は整備業界を支える要だ。できる限り連携していきたい」と力を込める。

半期ごとの整備士の過不足DI



※日本自動車整備振興会連合会の第61回「整備需要等の動向調査」を基に作成
※DI＝（「過剰」＋「やや過剰」）と回答した事業場の割合－（「不足」＋「やや不足」）と回答した事業場の割合

留学生など 入学者は増加傾向

整備士養成校への入学者数は増加傾向にある。文部科学省によると、25年度の整備士を育成する専修学校の入学者は前年比5・2%増の9391人となり、2年連続で上回った。

留学生の増加が最も大きな要因だ。ただ、各学校が募集活動を工夫し、情報発信を強化してきたことも効いている。オープンキャンパスや学園祭、地域貢献活動などで整備士の存在や魅力を粘り強く訴求してきた。

これらの活動が浸透し、志望者の増加につながっている。実際、「長年の活動によって地域や（志望者の）親が学校に向ける目線が変わってきた」と手応えをつかむ学校は少なくない。

整備業界の人手不足感は現場のデジタルトランスフォーメーション（DX）でも改善できる。ただ、最も効果的な方法は人材の供給量を増やすことだ。いま整備士養成校では入学者が増えるいい流れが生まれつつある。人手不足感を改善していくためには、その流れを自動車産業全体で加速させていくことが必要だ。

魅力訴える活動 粘り強く



学生の整備技術を学園祭でアピール

静岡県の自動車業界を支える
SAT'S



【設置学科】
自動車システム工学科
自動車整備科
国際オートメカニック科
ボディエンジニア研究科

卒業生、企業、保護者、在校生が勧める学校。
専門学校 静岡工科自動車大学校
静岡市葵区宮前町 52-1
TEL：054-263-4666



駅近徒歩 10 分の立地に開校
HAT'S
自動車システム工学科　4年制
自動車整備科　2年制
国際オートメカニック科　3年制

新しい環境でゼロから学ぶ、はじまりは浜松工科で。
専門学校 浜松工科自動車大学校
浜松市中央区寺島町 285-24
TEL：053-489-5123

全国自動車大学校・整備専門学校協会（JAMCA）中川 裕之会長に聞く

〝AIネイティブ〟にも対応した教育体制

自動車社会を支える整備人材の育成を通じ、車産業の発展に貢献してきた整備士養成校。一方、少子高齢化や人工知能（AI）の発達などで整備学校を取り巻く環境も大きく変わっている。業界の現状やこれからの整備士養成校の役割について全国自動車大学校・整備専門学校協会（JAMCA）の中川裕之会長に聞いた。



動画活用学習などさらに高度化へ

―いま整備士養成校はどのような環境に置かれているのか

「まず若い世代の変化を認識しなければならない。生まれた頃からインターネットがすでに普及していた『デジタルネイティブ』が入学してきている。今後はさらに下の『AIネイティブ』が増えてくる」

―AIネイティブとは

「幼少時からAIが身近にあり、それを当たり前のように活用している世代だ」

―学び方も変わってきそうだ

「例えば、動画を使った学習がより高度化していく。整備士養成校で言えば、AIが主導して実習を行うことも可能だろう。そうなれば時間的な制約や場所の制限もなくなる。AIネイティブはこういったことを前提に物事を考え、評価していく。われわれの想像以上に生活の中にAIが深く浸透している」

一緒に学生の成長促す〝伴走者〟

―学生の判断基準も変わってくる

「授業や実習にAIを活用していなければ、『僕らのことを全く理解していない』と思われても不思議ではない。そもそも、（そのAIネイティブが）興味を持たれない可能性もある。学生募集にも影響してくるだろう」

―AIネイティブが増えていく中での学校の役割は

「教える側には『ファシリテーション』の能力が求められる。文部科学省はこれを『人が本来もっていた力を引き出し、相互に掛け合わせることで増幅する』資質と定義付けている」

―具体的にはどうなっていくのか

「伴走者のようなイメージだ。時間的な制約や場所の制限がなくなっても、計画通りに学習を進められない学生も出てくるだろう。そうなった時に『一緒に頑張ろうよ』と声を掛け、支援する。それにより学生の成長を促していく。これは学生本位の整備士養成校だからこそできること。国もこの方針を掲げている。社会が待ち望んだ教育を提供していきたい」

―社会の変化に対応すれば、学生の成長をさらに後押しできそうだ

「もう間もなくAIネイティブが整備士養成校にも入学してくる。この世代に整備士教育を施していくことがこれからの日本のためにもなる。今後、より厳しい競争社会になる。その中でも整備士という国家資格があれば、自己実現もたやすい。それを若者に与えられる教育機関こそが、われわれ整備士養成校だ」

技術と信頼で未来を創る

TOYOTA TOKYO
トヨタ東京自動車大学校

TOYOTA NAGOYA
トヨタ名古屋自動車大学校

TOYOTA KOBE
トヨタ神戸自動車大学校



卓越した学びの場で一流の社会人への素養を育む

学校法人トヨタ整備学園　㈹ 042-673-2065

整備士養成学校　教職員の言葉

群馬自動車大学校



教務部
野球部コーチ
山田 恭太郎さん

群馬自動車大学校に入職後、一級自動車整備科で、3、4年生の担任をし、今年から二級自動車整備科の1年生を担任しています。

もともと本校の卒業生で、一度、授業をしていく上では、「学生全員に伝えるにはどうしたらいいか」を常日頃から考えています。学生には、はっきりとした目標を持って入学した学生と、そうでない学生がいます。熱量に差があり、理解度も違う。この差を、学年やクラスで一体感をもってやっていけるよう、授業以外のところでも日常的に声掛けしています。そして自分から自発的に動けるよう、自分から目標を設定して挑戦できるよう、環境づくりをするのが私の役目だと思っています。

自分の体験踏まえ 親身に寄り添って

本校は、教員一人ひとりが学生一人ひとりにしっかりと目を向けて、きめ細かい指導や手厚いサポートを行っています。例年、いろいろなことを抱えている学生がいますが、先生たちがしっかりと見ていて、卒業するために必要なことだけでなく、社会人として自立していけるように指導をしています。

越生自動車大学校



就職課長
田村 明洋さん

千葉県内の学校を卒業後『人に教えること』に興味を持ち、地元地域に戻って働きたいと希望し、越生自動車大学校に応募して教員になり早30年となりました。近年は1級や2級の担任、教務課長職を務め、4年前より学科長・就職課長を兼任しています。

就職課長の仕事は、学生の就職先となる企業の窓口になり、担任の先生と緊密にコミュニケーションを取りつつ学生に寄り添いながら就職先を決定していくことです。きめ細かい進路指導を行うために、1年生・3年生の冬に進路の希望を学生にヒアリングしています。

当校では「少人数グループ制」を導入していることから、学生一人ひとりに沿ったコミュニケーションをとることができ、学生の成長を間近で見ることができます。

社会人の基本的なマナー指導を徹底

学生は、卒業後すぐに専門知識を携えた自動車整備士として働くことになるため、お客さまとコミュニケーションを取る機会が増えます。社会人として必要になるマナーを刷り込むことが大切です。そのため、あいさつは必ず立ち止まってするなど社会人としての基本的なマナーの指導を徹底することに力を入れています。整備士を目指す気持ちを高めながら生活を続け、徹底的に車好きになってほしい。そのうえで、初志貫徹の気持ちで整備士資格取得を目指してほしい。

関東工業自動車大学校



教務部
深澤 尚哉さん

昨年10月に教員となり、今年で1年が経ちました。もともと車が好きで、整備も好きだったこともあり、群馬県で整備士として働いていました。そうした中、以前から教育に興味と関心があり、友人が通っていた関東工業自動車大学校で働くことを決めました。

実際に教育の現場に入った当初は戸惑うことが多々ありました。自動車整備士として働いていたので、知識や経験はありましたが、どうしたら生徒に伝わりやすく説明できるかを自問自答する日々でした。周りの経験豊富な先生方にサポートしていただき、乗り越えることができました。現在は、二級自動車整備過程の2年生を担当しています。

学生の表情を見て 距離感を大切に

授業の中で、説明したことが理解されているかどうかを常に確認しながら進めるというプロセスを繰り返して徐々に教え方をつかんでいきました。成績など数字で学生の成長が見えた時にやりがいとうれしさを感じています。絶えず学生の表情を見ながら、コミュニケーションを取りながら、距離感を大切にしています。学生が卒業してから社会に出た時に、困ることがないよう、社会人としての基本的なマナーの刷り込みにも力を入れています。

学生には当たり前のことをしっかりとやり、メリハリがつけられるようになってほしい。何事にも目標を持ってチームワークを大切に取り組み、良い意味で自分の中にこだわりをもって頑張ってほしい。

東京自動車大学校



教育副部長
ボディクラフト科担任
高橋 孝治さん

教員になってから来年の2月で丸10年になります。教員になる前は国産ディーラーで十数年、その後仲間と会社を立ち上げ約12年続けておりました。現場を引退すると同時にご縁をいただきまして東京自動車大学校に入職しました。

教育は難しいと感じる半面、やりがいも多く感じます。卒業生から就職後、先生からの教えが役に立ったと感謝されるとともうれしいです。また当校は兄弟で入学いただくことも多く自身の考えがそのまま受け継がれているとやりがいや教員という仕事の醍醐味を感じます。最初は教育の難しさを感じました。そして年々変わりゆく知識や風潮に対応していくことに苦労しています。その年代に合った教育を常に模索しながら動めています。一方で、一貫して学生に伝えていることもあります。それはチャレンジ精神です。失敗を恐れず最後まで絶対にあきらめずやり通すことを常に伝えています。

常に各々の年代に 合った教育を模索

学校では失敗しても大丈夫だからどんどんチャレンジして多くのことを学んでほしいと思っています。そのほか学業だけではなく私生活についても指導することもあります。実際、卒業生からその点に関しての感謝も多いです。

技術だけでなく人間性も成長できる人材になってほしいですし、自分の教育を受け継いでくれるよう、私自身も整備の楽しさを伝えていきます。

東京工科自動車大学校 中野校



1級自動車整備科
主任
塚野 要一さん

教員になる前は国産ディーラーでアドバイザーも含め10年ほど勤めていました。後輩指導もするようになり教育に興味を持ち教員になることを決めました。

教員になって5年ほど経ちましたが楽しく学生と過ごしています。現在は1級自動車整備科の3年生から持ち上がりで4年生を受け持っています。3年生の始めと比べると、授業の内容も難しくなっていますが、学生の成長を見て取ることができ、そこが楽しくやりがいを感じています。自分の持てる知識を可能な限りすべて教えていきたいですし、どうすれば分かりやすく伝わるか、反応も見ながら常に考えながら授業をしています。特に最初は学生の疑問を引き出し、理解を深めてもらう工夫の難しさに戸惑いました。自分で授業を振り返って反省することも多いですが学生が成長しているのを見ると頑張れます。

謙虚さを忘れずに 人間性も磨いて

今の目標は全員元気に卒業することと資格取得です。あっという間に過ぎていくと思うので、学生たちとの日々を一日一日大事に過ごしていきたいと思っています。

学生には知識だけではなく、社会に出ると人間性も必要になってくるので、両立できるような整備士になってほしいと思っています。謙虚さを忘れず自立できた整備士になってほしいと思います。

日本工学院 八王子専門学校



自動車整備科
馬場 俊介さん

教員に就任する前は関西でJAFのロードサービスや開発に12年間勤めていました。研修で関東に来る機会があった際に日本工学院八王子専門学校から声をかけていただきました。

就任後はまず地域による人との距離感の難しさを感じました。いろいろな出身地の人が集まるのでそれぞれに合った付き合い方から考えました。

現在は自動車整備科の1年生の担任を持っています。うち一つは留学生を受け持っています。留学生が増加していることに加え日本語能力に差があるため、丁寧な指導をするようにしています。

日本人学生に対してもそれぞれ入学した理由も違いますので熱量や興味にどうしても差が出てきます。そこをいかに学生のモチベーションを上げるか日々仕掛けを考えています。また世代ごとにも色が全く違うので、そこになるべく早く適応できるように心がけています。学生からの感謝や、先生を続けてほしいと言われるとやりがいを感じます。一方、在校生、卒業生を問わずさまざまなフィードバックがあります。良いことやもう少しここを学びたかったという声もありますので、その声をしっかり聞いて日々よりよい教育に励んでいます。

やる気を引き出す 仕掛けを考えて

将来学生には身体的にも精神的には自分の体を大事にできる整備士になってほしいと思います。自動車整備士は難しい道だと思いますが、学校でたくさん失敗も経験して挑戦していってほしいです。

トヨタ神戸自動車大学校



教育部
廣地 凌太さん

母校のトヨタ神戸自動車大学校で学んでいたとき、学生の将来や成長を真剣に親身に向き合う先生方の姿に感銘を受け、教員を志しました。現在はエキスパートエンジニア科の4年生を担当し、重整備実習などの自動車を幅広く学ぶ授業を受け持っています。

学生を指導する上では、現場で活躍できる人材を育てることを心掛けています。整備技術だけでなく、あいさつや報告・連絡・相談、そして相手を思いやる行動の大切さも伝えるようにしています。

印象に残っているのは、留学生が少なかったころに担任をしたスリランカ出身の学生です。言葉の壁を乗り越えるために試行錯誤して国家試験合格へ導いた喜びを今でも鮮明に覚えています。学生一人ひとりに合った伝え方で成長を支援できることが、この仕事の魅力です。

分かりやすい授業心掛け 目で見て

今の学生はデジタル機器に慣れ、自動車の新しい技術への理解も早いです。だからこそ、基礎的な原理の理解が重要となるため、学生が目で見て分かりやすい授業をすることを心掛けています。

整備士は、車が好きな人にとって一生学び続けられる魅力ある仕事です。また、自分の技術でお客さまの安全を支え、感謝をいただけるやりがいある仕事でもあります。好きなことに本気で取り組めば、人は大きく成長できます。ぜひ、トヨタ神戸自動車大学校で自動車業界の未来を支える技術者を目指しましょう。

静岡工科自動車大学校



教務課長
岡村 宗和さん

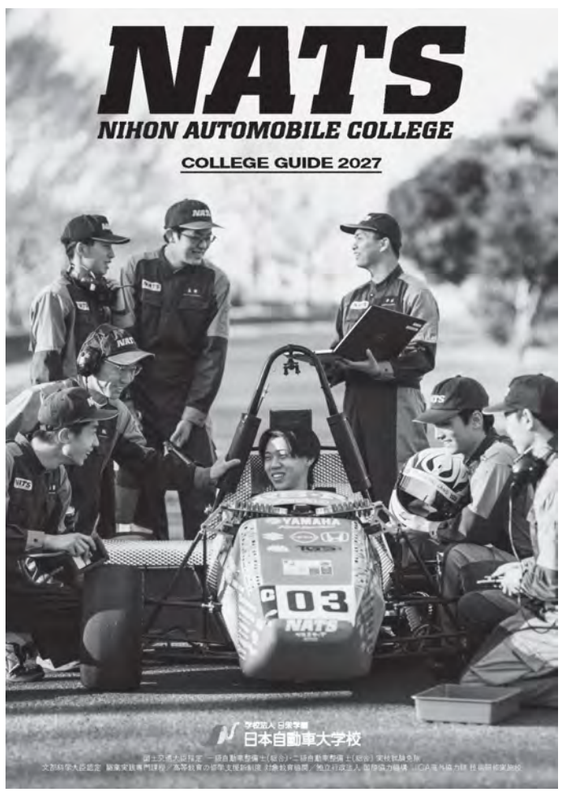
若年人口が減り続ける中、独自の特色を打ち出していく必要があります。今後は高校生対象の募集活動にとどまらず、小中学生や幼児など幅広い層に視野を広げていきたい。地域の小中学校のイベント参加や職業講話、本校主催の「静岡カーフェスティバル」などを通じ、自動車やものづくりへの興味を持ってもらいたい。メカニックの魅力や社会的意義を広くPRしていくことが不可欠です。

モータースポーツやレースに興味を抱く層は、いつの時代も一定数存在します。これまで「部活」として運営していた組織を2024年から「サークル」へと移行し、学生が自ら考え、行動する組織に生まれ変わりました。指示待ちになりがちな若者も少なくない中で、前向きで自主的なメンバーがそろっています。

イベントなどで 整備士の魅力PR

県内の自動車関連企業との協力も深めており、各社のメカニックに本校で授業を行っていただいています。最新の業界動向や技術を伝えるだけでなく、プロの生の声を学生にダイレクトに届けていただいています。

ボデーエンジニア研究科では、「東京オートサロン」に毎年出展しています。時代が変わり、自動車の構造が変化しようとも、板金や塗装の技術が不要になることはありません。板金工場も時代に合わせて一新し、冷暖房を完備するなど作業環境にも配慮した近代的な設備を整えています。

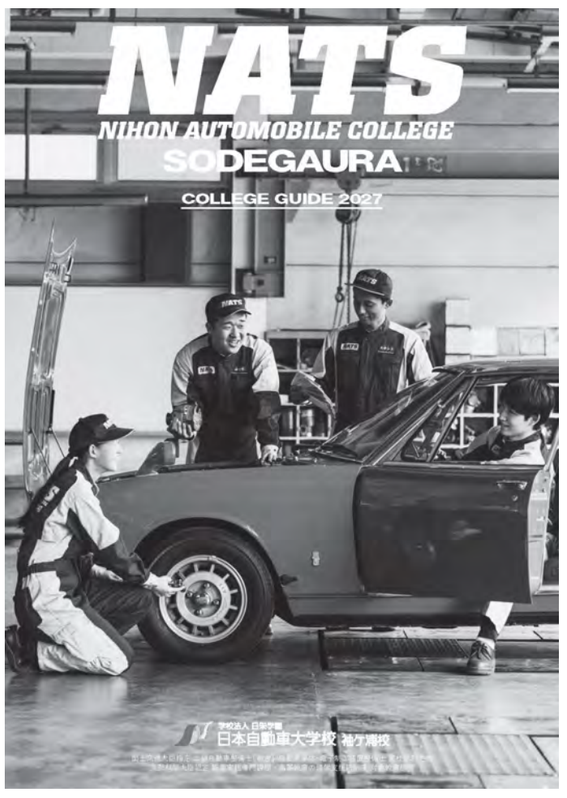


【夢は大きく 根は深く 志高く】

NATS
NIHON AUTOMOBILE COLLEGE

学校法人 日栄学園
日本自動車大学校

皆様のご期待に沿える学生教育を目指し
10 年 20 年後における自動車業界の未来を見据えた
最高の教育環境を整えてまいります。



日本自動車大学校
自動車整備科（2年）・カスタマイズ科（3年）・モータースポーツ科（3年）・自動車研究科（4年）
〒287-0217 千葉県成田市桜田 296-38 ／TEL.0476-73-5507 ／ https://www.nats.ac.jp

日本自動車大学校 袖ケ浦校
2級自動車整備科（2年）・自動車車体整備科（3年）
〒299-0265 千葉県袖ケ浦市長浦 580-258 ／TEL.0438-63-0077 ／ https://www.nats-s.ac.jp

整備士養成学校　在校生の声

日産愛知自動車大学校

教員　坂本 晃一さん



日産愛知自動車大学校は都会にあって通学がとても便利な上、校舎を見学した時に在学生がとても丁寧に教えてくれたことが印象に残り、強く志望しました。

学生生活はとても充実していました。知識が豊富で人柄も気さくな先生が多く、授業を受けていて面白かったです。その影響で、将来は整備学校の先生になるのも良いなと思うようになりました。卒業後は地元の整備工場に就職して楽しく働いていました。

「ゆっくり・分かりやすく」を意識

が、母校から教員にならないかというお誘いをいただき、転職を決めました。

近年は外国人留学生が増えており、授業では「ゆっくりと、分かりやすく」を強く意識しています。漢字に対して苦手意識のある留学生もおり、それぞれの漢字の意味をかみ砕いて伝えるように努めています。外国語で熱心に勉強している姿を見ると、本当にすごいなと思いますね。

整備士は持ち前の技術を使ってサービスを提供し、お客さまから感謝をしてもらえる仕事だと考えています。学生の皆さんには日々の学習で自らの技術レベルを高め、「選ばれる整備士」になってほしいですね。

越生自動車大学校

一級自動車整備科 3年 飯嶋 彩斗さん

技術に加えコミュニケーション能力



母親のお気に入りの動かない愛車が自宅にあり、修理して動くようにしたいという思いと車好きがきっかけで自動車整備士を目指そうと決めました。越生自動車大学校を選んだのは、少人数制で自分のペースで学べることと先生方の手厚いサポートが受けられる点に惹(ひ)かれて進学しました。

入学後は、２級自動車整備士資格を取得して３年生になり、１級自動車整備士過程に入りました。予想していましたが、難易度の高さを実感しました。その一方で、最初は理解できなかったことが徐々に理解できるようになるなど、これまで学んだ知識が基礎になっていることも実感しました。また、学校ではさまざまなイベントや行事があり、他学年と触れ合う機会が多いため、学年に関係なく仲が良い学生も多いです。３泊４日で行った広島・大阪の研修旅行は、知らない場所をめぐることができ、今でも楽しい思い出です。

将来はお客さまに信頼される自動車整備士になることが今の目標です。そのため、整備技術に加えてコミュニケーションスキルを磨くことが大切だと考えています。学校内の有志で構成する学生会の会長を務めています。学生代表として学校行事であいさつする機会が多くあり、将来のために人前で話すことの良い経験になればと思っています。

学校では国家資格を取るための勉強ではありますが、実習における作業の仕方や手順を身に付け、学校卒業後も困ることがないようにしたいです。

群馬自動車大学校

一級自動車整備科 3年 佐藤 琉生さん

将来はどんな作業でも正確に素早く



小さい頃から機械いじりと自動車が好きだったことから高校は工業高校に通い、「好きなことを仕事にできたらいい」と自動車整備士になることを決意しました。そこで、整備士として歩んでいくには資格取得の有無が今後大事になってくると考え、高校を卒業してすぐの就職だと資格を得るのが難しいと思い、自動車専門学校への進学を決めました。

数ある自動車専門学校の中で群馬自動車大学校を選んだのは、やはり設備が充実しているからです。実習車もいろいろなメーカーの車両があるなど、たくさんのことを学べると感じ、この学校を選びました。学校生活は、友達もたくさんできて楽しい毎日です。今年も夏休みに友達と海に出かけたなど、学生を満喫しています。

実習では、エンジンを降ろす作業が体験できるなど、「こんなことまでできるんだ」と思った内容がたくさんあります。３年生になってからは実習の自由度が広がり、より実践的なことを多く学べています。

座学の時間も多く、あまり得意分野ではないですが、在学期間を通して国家資格試験の対策などをしてくれるので一生懸命学んでいます。

直近の目標は、まずは一級自動車整備士資格の取得です。そして将来は、お客さまから信頼してもらえる整備士を目指していて、どんな作業でも正確に素早くできるようになりたいです。

花壇自動車大学校

１級自動車科 1年 内藤 翔太さん

地元で必要とされ活躍する整備士に



自動車整備士を志すきっかけとなったのは、実家がガソリンスタンドを経営しており、小さい頃からクルマに触れる機会が多かったことからです。父が手や作業着を油で黒くしながら、お客さまのクルマの不調の原因を見つけ、「ありがとう」とお客さまから感謝される姿を見て、父のようになりたい、自分も好きなクルマを通して、人から感謝される仕事をしたいと思いました。

自動車整備士の道を明確に決めたのは中学生の時で、機械科のある高校に進学しました。花壇自動車大学校に決めた理由は、１級自動車整備士の資格を取得するための充実した設備と授業内容、合格率などを実際に説明会や見学会を通して実感したからです。入学して半年経過しましたが、学生生活は充実して満喫できています。先生と生徒の距離は近く、授業で分からないことはすぐに先生に質問して納得できるまで教えてくれるため、安心して学べています。

将来目指したい姿は、地元の山形県で必要とされ、活躍できる自動車整備士になることです。山形は公共交通機関が十分でなく、多くの人がどこに行くにもクルマが必要なクルマ社会です。自動車の電子化が進んで求められる知識や技術が高度化する一方、１級自動車整備士に限らず整備士自体が不足している今、生まれ育った山形で必要不可欠なクルマを通じ、父のような人から感謝される人になり、誰からも頼られる１級自動車整備士になりたいです。

日本工学院 八王子専門学校

自動車整備科 3年 小野瀬 晃平さん

"命を預かる仕事"の意識を忘れずに



機械いじりや工作が好きだったのでそれを生かせる仕事を探したときに、自動車整備士を見つけました。小さい頃から父がバイクや自動車が好きだったのを横で見ていたことも影響していたと思います。

日本工学院八王子専門学校に入学したのは車種問わずオールマイティーに車を扱うことができるからです。実際の学生生活は想像していたよりも忙しいと感じます。いろいろな車種を扱うにあたりそれぞれの修理方法を学ぶのが大変です。現在の電気自動車の授業は特に難しいです。もともと入学時は２年制の自動車整備科でしたが、先生方の勧めもあり１級自動車整備科に編入しました。今後１級自動車整備士の重要性やより高度な技術を身に付けることができると思い、日々頑張っています。いろいろな車種を扱えるからこそ、貴重な車種に触れる機会や実習もたくさんあり充実した生活を送れています。

本格的な就職活動はこれからですが、企業説明会などの機会もあるので、そこで企業のニーズも参考にしながら、まずは資格取得と就職活動を成功させることを第一の目標としています。自動車の安全を支えるのが自動車整備士だと思っているので、人の命を預かっているという意識を持って仕事に向き合いたいと思っています。

東京工科自動車大学校 中野校

１級自動車整備科 4年 木村 柊斗さん

知識だけじゃない現場想定した授業



東京工科自動車大学校に入学したのは、車の好きな友達に誘われて東京工科自動車大学校のオープンキャンパスに行ったことがきっかけです。訪れた時の肌感で自分に合いそうだと直感しました。他キャンパスのオープンキャンパスも多く参加し、プログラム内の運転体験や整備体験が面白いと感じ、自動車整備士に興味を持ちました。

入学当時はエンジンメンテナンス科に所属しました。いろいろなエンジンに触れエンジンについて深く学べる学科です。特別なエンジンを扱うこともあり楽しく学べました。特にロータリーエンジンを扱った実習はとても印象に残っています。そして３年生から１級自動車整備士科に編入しました。電気回路などの知識も増え大変ですが学びがいもあり、楽しく学べています。楽しい授業も難しい授業も含めモチベーションにつながっています。

先生方も自身の現場での知識や体験などもたくさん話してくださいます。授業の知識だけではないリアルな現場を知ることができます。現在学んでいる故障診断のシミュレーションも難しいですが、実際に整備士になった時を踏まえた内容になっていて、とても勉強になります。

今後どんどん最新の自動車が出てくると思います。その中で、学んだからこそ実際に車を修理することはとても難しいことだと実感しながらも、将来はどんな故障も迅速に対応できる整備士になりたいと思っています。

東京自動車大学校

整備士コース 3年 木村 慎之介さん

枠にとらわれず幅広い分野で活躍



幼少期から車が好きで、特にモータースポーツに熱中しました。その頃から何かしら自動車に携わる仕事がしたいと思い自動車整備士を目指しました。東京自動車大学校を選んだ理由は、メーカーにとらわれずいろいろなメーカーの車について学ぶことができる点に惹(ひ)かれました。さまざまな車に携わることで将来的に選択肢を幅広く持つことができると考えました。

現在は電子系について学ぶことが多く、目に見えない部分で難しいですが友人や先生に聞いて理解を深めています。先生方も非常に優しいので楽しく学んでいます。印象に残った授業は日産ＧＴＲのエンジンの脱着の授業があり貴重な体験ができ当校ならではの体験だと感じました。授業外の活動も積極的に行っています。今年１月の東京オートサロンの「ｅ－ＤＧＭＳ」で２位を獲得しました。また同大会のオンライン第１戦では優勝することができました。クルマの性能や車に合ったセッティングを行うので整備専門学生としての知識が生かされていると実感します。

当校ではクルマに関わることであればいろんなことに挑戦ができます。枠にとらわれずどんな形でも車に携わることに前向きになれました。今はレーシングメカニックを目指していますが、将来的にはモータースポーツジャーナリストになりたいと思っています。自動車整備専門学校だから整備士という選択肢だけでなく自動車業界の幅広い分野の中で活躍できるようになりたいです。

関東工業自動車大学校

２級自動車整備科 2年 小塙 哲史さん

努力を重ねれば必ず将来につながる



もともと車が好きで、両親と一緒に車で良く出かけていました。好きな車に関わりたくて、中学生の時に職業を調べる中で、自動車整備士という仕事を知りました。

関東工業自動車大学校への進学を決めたのは、オープンキャンパスで訪れた際に、ほかの学校と印象が違い、先生と生徒との距離が非常に近く感じたことです。入学後に勉強で躓(つまず)きそうになった時にもきちんと支援が受けられそうだと思ったからです。

入学当初から、好きな車と関われる自動車整備士になることが目標だったので、今の努力は必ず将来につながると考えて頑張っています。努力の結果は、試験や課題の点数に結果として表れているので、達成感やうれしさにつながっています。

入学後の勉強で、車の専門用語が理解できるようになり、勉強したことが確実に身に付いてきていると実感できています。また、入学後は寮生活であるため、寮生活を通じて知り合いも増えるなど生活にも変化がありました。印象に残る授業は、トランスミッションを脱着する実習があり、できた時に達成感が味わえたことです。

目標としていることは、働く会社のスタッフやお客さまに信頼される整備士になることです。さらに、将来的には、働きながら１級自動車整備士資格の取得も目指したいと思っています。大変であることは分かっていますが、好きなことを通じてできる仕事なので、乗り越えられるように頑張りたいです。



くるまの総合大学 専門学校［ 国土交通大臣指定・実技試験免除 ］
〒365-0059 埼玉県鴻巣市糠田2618-8
https://kanto-koudai.com
関東工業自動車大学校
TEL.048-596-3555

CHUOH TECHNICAL SCHOOL
国土交通省指定
cts（専）中央自動車大学校
世界で活躍できるチカラを身につける！


お問合せ ご質問
入学広報センター
携帯・PHS OK 0120-516-535
〒270-1431
千葉県白井市根 1920-7
https://cts.ac.jp

日産愛知自動車大学校

一級自動車工学科 2年 杉江 航太さん

活発な交流 知識も増え充実の生活

「ＧＴ－Ｒ」が好きな父をはじめ、小さい頃から周りに日産ファンが多くいました。自動車を専門的に学びたいという思いから高校時代に日産愛知自動車大学校のオープンキャンパスに参加し、きれいな校舎や温かい在校生などに魅力を感じて志望しました。



入学後の学生生活は想像以上に充実しています。周りの学生は車にとても詳しい人が多く、話していて楽しいですし、車に関する知識を多く得ることができます。「日産メカニックチャレンジ」や学園祭など、楽しいイベントが多いのも魅力です。外国人留学生も多く、交流を通じて異文化を学んでいます。

先生と学生のコミュニケーションが非常に活発なのも日産愛知自動車大学校の魅力です。先生の授業はとても分かりやすく、勉強や私生活の悩み事も気軽に相談できます。

現在は国家一級自動車整備士の資格取得を目指しています。一級課程の先輩方を見てかっこ良いと思ったのと、自動車の電子化で一級整備士のニーズが今後さらに高まっていくだろうと考えたのがきっかけです。卒業後の進路については現在検討中ですが、学校生活が非常に楽しく、日産愛知自動車大学校の先生として学校に残ることにも関心を持っています。

日本自動車大学校(ＮＡＴＳ) 袖ケ浦校

自動車車体整備科 3年 志賀 功さん

夢を叶えるための選択コースが充実

中学時代の職場体験で自動車ディーラーのメカニックを経験したことが整備士を目指すきっかけでした。学校の朝読書の時間でも、周りが文庫本などを読む中で、自分だけは自動車工学の本を広げるような、クルマ好きの子どもでした。



日本自動車大学校袖ケ浦校を選んだのは、実家が木更津で袖ケ浦校に近かったこともありますが、一番の理由は袖ケ浦校を卒業した後も成田校の上級コースに進級できることが魅力でした。

現在は、来年１月に開催される東京オートサロンに出展する1978年式の「いすゞ117クーペ」のレストアに取り組んでいます。外見はきれいそうに見えても、内装や下回りのなど痛みと劣化が激しく、仲間と協力し合いながら新車以上の輝きを取り戻そうと作業を進めています。

来年３月の卒業後は、成田校に移って１級自動車整備士を目指した勉強を始めます。入学する前から、袖ケ浦校で２級自動車整備士の資格を取った後、自動車車体整備科に進んで自動車車体整備士の資格も取り、その後は成田校の自動車研究科に進級して１級整備士の資格を取りたいと思っていました。

ＮＡＴＳにはこうした夢を叶えるためのさまざまなコースがありますので、用意されたせっかくの選択肢を生かしながら、これからの仕事に役立つ知識と経験を深めていきたいと考えています。

日本自動車大学校(ＮＡＴＳ)

自動車研究科１級コース 3年 越川 拓さん

将来の可能性探れる魅力がいっぱい

子どものころ、父と一緒に行ったディーラーで、点検作業に集中するメカニックの姿が格好よく見えました。ただ、それが理由で整備士を目指したわけではなく、どちらかといえば建築士になりたい気持ちもあり、進路選択で迷いました。



整備士か建築士かで悩んでいた時、ＮＡＴＳを訪問して心が決まりました。広いキャンパスにはサーキットをはじめとする充実した設備があり、先生方の説明も分かりやすく明解でした。整備士になりたいという気持ち以上に、「ここで学びたい」と思わせる魅力が私を惹(ひ)き付けました。

自動車整備科を修了して４月から１級整備士コースに進級しました。整備科時代は、２年生の後期に開催された学内の技能競技大会で、仲のいい仲間とペアを組んで総合優勝することができました。１級コースに進んだ今は、さすがに勉強内容の難しさを感じながらも、優勝した栄誉を汚さないよう次の時代の自動車技術をたくさん学びたいと授業に取り組んでいます。

卒業後は、憧れのきっかけになったディーラーへの就職か、得意の法規を生かした運輸支局の検査官の道に進みたいと考えています。先生からは学校に残って学生に教えないかとのお誘いも受けており、いろいろな可能性を探りながらこれからの将来を見つめたいと思っています。

中央自動車大学校

1級コース 4年 田島 康誠さん

貴重な経験になったＡＸＣＲ派遣

高校在学中の学校説明会で中央自動車大学校を知りました。もともと機械をいじることが好きでしたので、オープンキャンパスで実際のクルマに触れてみて、自動車を整備するという作業がとても楽しく感じました。



学校は少人数制で仲間や先生との距離も近く、じっくり学べることが大きな魅力だと思います。入学するまでは、クルマについてあまり詳しい知識を持っていたわけではありませんでしたが、好きでこの学校を選んだわけですから、入学後は毎日が自分の世界のように思えて、とても充実した学生生活を送ることができました。

今年８月には、学校として毎年参戦している「アジアクロスカントリーラリー（ＡＸＣＲ）」にメカニックとしてタイに派遣していただきました。まさか自分が選抜されるとは思っていなかったのですが、参戦チームの車両造りや実際のラリー現場で生のレースに触れることができたことは、貴重な経験になりました。

卒業後は都内の大手ディーラーに就職が内定しています。いくつもの会社を調べた上で希望した会社ですから、入社後はしっかりとその責任を果たしていきたいと考えています。お客さまから安心してクルマを預けていただける、信頼される整備士に早くなることが今の一番の目標です。

名鉄自動車大学校

2級自動車整備士コース 2年 早川 來夏さん

資格取得し社会に通用する人間に

愛知県瀬戸市の出身です。小さい頃からずっと自動車が好きです。映画「ワイルド・スピード」の影響もあり、「車ってかっこ良い、将来は自動車関係の仕事に就きたい」と思うようになりました。名鉄自動車大学校は少人数教育に力を入れている印象があった上、学費も家計に優しいと感じました。説明会で学校の魅力を詳しく教えてもらったこともありがたく、強く志望しました。



入学し、先生と学生の距離がとても近く、話の合う学生も多いなと強く感じています。校風が自由で、学生一人ひとりが自分の個性を出せる環境だと思います。先生が分かりやすく教えてくれるので、勉強もしやすいです。軟式野球部にも所属しており、主にキャッチャーを務めています。打順は４番を打たせてもらうことも多いです。部活はとても楽しく、全国大会に出場して１勝することを目指しています。

２級自動車整備士コースを終えた後は国家１級自動車整備士を目指して１級整備士コースに進学するつもりです。１級コースに進みたいという気持ちは入学時点からありました。将来の仕事は現在考え中ですが、自営業にも関心があります。資格を着実に取得すること、社会で通用する人間であることを強く意識し、残りの学生生活も頑張ります。

中日本自動車短期大学

一級自動車整備専攻 2年 鈴木 悠生さん

整備に加え「開発」への関心高まる

愛知県安城市の出身です。家族の中に車好きが多く、幼い頃から自動車はとても身近な存在でした。小さい頃は「トミカ」で遊び、高校時代はレース関係のゲームに親しみました。その中で将来は自動車関係の仕事に就きたいという思いが強まり、中日本自動車短期大学を志望しました。２年間の二級自動車整備士課程を経て、一級自動車整備専攻まで進むことは入学時点である程度想定していました。



中日本自動車短期大学は先生と学生の距離がとても近いです。親身に寄り添ってくれる先生ばかりで、困ったことがあれば何でも相談できます。就職先の幅が非常に広いのも学生には魅力的です。整備業界はもちろん、車両の開発やモータースポーツの分野に進む学生もいます。私も入学後、開発の仕事に対する関心がどんどん高まっていきました。

学内には外国人留学生も多く、日本人か留学生かに関係なく勉強で分からないことを積極的に教え合ったりしています。国によって文化が違うので、交流を通じて多くのことを学んでいます。オープンキャンパスの案内スタッフも経験しました。

卒業後は車両の試験評価を行う会社に就職する予定です。仕事を通じて、多くの人が安心して乗れる車づくりに貢献したいです。

高山自動車短期大学

自動車工学科 1年 中島 一華さん

未然に故障や事故防ぎ安全に貢献

私の母は自動車整備士の経験があります。そのため、車や整備士は私にとって小さい頃からとても身近な存在でした。自分も車の構造を詳しく学んで整備士になりたいと思い、母の出身校である高山自動車短期大学を志望しました。



普通科の高校出身なので、自動車の勉強は短大入学後に一から始めました。先生方の指導はとても分かりやすく、学科の授業でも実際の部品を見たり触ったりできるので、理解がとてもしやすいです。実習の授業は少人数なので先生と向き合う時間が長く、分からないことはすぐに質問できます。自動車メーカーの方から最新技術を教わる機会もあります。

クラスには外国人留学生も多く、日ごろの会話を通じて海外の文化を学ぶことができます。積極的に話しかけてくれる留学生が多く、私もネパール料理などについての知識が増えました。また、大学がある高山市はとても過ごしやすい街だと感じています。

残り約１年半の短大生活では勉強と就職活動を頑張るつもりです。国家二級自動車整備士の資格を取得し、地元の静岡で整備士として働きたいです。壊れた車を修理するだけではなく、整備を通じて故障や事故を未然に防ぎ、自動車ユーザーの安全安心に貢献できる整備士になりたいです。

トヨタ神戸自動車大学校

高度自動車科 4年 小林 璃起さん

モータースポーツ通じ実践的な学び

父が車屋を営んでいたこともあり、幼いころから自動車は身近な存在でした。納車や引き取りについて回り、中学生からは点検・整備も手伝ううちに、将来は車に携わる仕事をしたいと思うようになりました。



整備士はお客さまの命を預かる仕事だと感じ、専門知識を身に付けるために進学を決意。充実した設備で最先端の技術を学べ、清潔感ある学び舎で自然と学習意欲が高まる点にひかれて、この学校を選びました。

手を動かす実習には自信がありましたが、座学は苦手で、図解しながら知識を深めて克服しました。学校生活での楽しみの一つは、モータースポーツ部での活動で、ラリーチャレンジに学生メカニックとして参戦しました。マシンは公道も走行可能な車検対応車両で、過酷なモータースポーツを通してどのような異変や不具合が発生し、どのような整備が必要になるのかを実践的に学ぶことができました。４年生の今は後輩への伝え方も考えるようになりました。

目指すのは、知識と技術に自信を持ってお客さまとコミュニケーションできる整備士。授業では、ディーラー整備士として活躍する出向の先生から直接学ぶ機会もあり、分からないことをすぐに教えてくれるその知識量に感動し、尊敬しています。好きを仕事にできる、これ以上ない環境です。ぜひ一緒にクルマを学びましょう。

日本最大級の自動車整備士養成施設でクルマの全てを学ぶ

1級自動車整備士・自動車車体整備士・2級自動車整備士など
クルマに関するあらゆる国家資格取得が可能。



●自動車工学科
・2級自動車整備士コース(2年間)
・1級自動車整備士コース(4年間)
・車体整備士コース(3年間)
●モータースポーツエンジニアリング学科(3年制)

NAC 学科構成

自動車工学科 2年制 定員200名
2級自動車整備士コース → 2級整備士
1級自動車整備士コース → 2級整備士 → 専攻科 1級自動車整備専攻 1級整備士 2+2=4年間
車体整備士コース → 2級整備士 → 専攻科 車体整備専攻 自動車車体整備士 2+1=3年間
モータースポーツエンジニアリング学科 3年制 定員30名 → 2級整備士 進学可能

文部科学省　国土交通省認定大学
イタリア国立フェラーリ工業専門学校提携校

中日本自動車短期大学

505-0077 岐阜県加茂郡坂祝町深萱1301　0120-500-885
URL https://www.nakanihon.ac.jp/　E-mail info@nakanihon.ac.jp

日産校は全国に5校!



日産・自動車大学校

専門学校 日産栃木自動車大学校
専門学校 日産横浜自動車大学校
専門学校 日産愛知自動車大学校
専門学校 日産京都自動車大学校
専門学校 日産愛媛自動車大学校



一人一人を大切にする少人数グループ制
修学支援制度対象校
職業実践専門課程対象校
学校法人 一川学園
越生自動車大学校

クルマのすべてを学び
飛躍のステージへ！

2級自動車整備士コース　募集定員120名 2ヵ年 男・女

1級自動車整備士コース　募集定員20名 2ヵ年 男・女



国土交通大臣指定
学校法人 名鉄学園
MATS 専門学校 名鉄自動車大学校
〒480-0142 愛知県丹羽郡大口町中小口四丁目10番地 TEL 0587-95-1227
E-mail:mats@eagle.ocn.ne.jp URL http://www.meitetsu.ac.jp/mats/



KADAN
AUTOMOTIVE TECHNICAL COLLEGE SENDAI

設置学科
◆一級自動車科（4年）　◆自 動 車 科（2年）　◆ボディークラフト科（1年）

学校法人角川学園
専門学校 花壇自動車大学校
〒980-0815 仙台市青葉区花壇8-1 TEL022-222-3838
https://www.kadan.ac.jp/
花壇（かだん）自動車大学校　検索

整備士養成学校 トピックス

花壇自動車大学校

□■説明会の参加者倍増□■
SNS活用を強化

角川学園（角川重博理事長、仙台市青葉区）が運営する花壇自動車大学校（鮭名満校長、同）は、教職員の東北各県の高校訪問活動や、SNS（会員制交流サイト）による情報発信の強化に取り組んできた。その結果、4月に行った東北6県の高校2年生を対象とした学校説明会の参加者数が例年の2倍超になるなど成果を上げている。

高校生の就職・進学活動が年々早期化傾向にあることから、従来は4～7月頃に実施していた学校説明会を前倒しした。教職員による東北各県の高校訪問活動も、学校説明会の参加者数増に貢献している。

7月に開催したオープンキャンパスも盛況だった。参加者は2日間で高校生と両親らを含め500人近くを数えた。在校生がアテンドし、各イベントブースの案内や学校生活、授業内容などの説明を行った。自動車メーカーや東北各県の自動車販売会社なども協力して、車両展示や最新技術体験などを行ってイベントを盛り上げた。



入学志願者の拡大に向けた取り組みを進める一方で、外国人留学生の育成・就業支援にも注力している。1月に常陽銀行と外国人材活用に関する連携協力協定を締結。常陽銀が業務協力協定を結ぶインドネシアの教育機関の卒業生を、2028年度をめどに花壇自大が留学生として受け入れる予定だ。東北で外国人整備士の育成と自動車関連企業への就業支援の仕組みを確立し、整備士不足の課題解決を目指す。

関東工業自動車大学校

□■野球部が県大会制覇□■
初の全国大会出場



関東工業自動車大学校（中川裕之理事長・校長、埼玉県鴻巣市）野球部（木村みどり顧問）が、創部初となる第38回全国専門学校軟式野球選手権大会埼玉県大会を制し、全国大会出場を勝ち取った。

同校野球部は、ソフトボール部を前身にもち、1997年に創部した。今年で29年目を迎える同校でも歴史ある部活動だ。部員は、1年生4人、2年生2人、3年生4人、4年生2人の総勢12人。

同校野球部の主将を務める菅山太喜さんは、「今年のチームはチームワークがあり、しっかりとチームプレーができている」ことが県大会制覇につながったと熱を込める。

ただ、あくまでも学業優先となるため、練習は週に2回2時間程度だが、「その分集中してできたことで、チームのまとまりができた」とし「一人ひとりがチームのために動き、全員野球ができた結果」と木村顧問は笑顔を見せる。

同校野球部は、11月24日から倉敷スポーツ公園マスカットスタジアムで始まる全国大会には、全国から18校が出場するという。全国大会に向けて菅山さんは「全国制覇を目指して緊張をほぐして実力を発揮できるように頑張りたい」と意気込みを述べた。続けて木村顧問が「キャプテンを中心に一致団結して頑張りたい」と期待を込める。

同校野球部の全国大会の活躍に期待がかかる。

群馬自動車大学校

□■イベントなど通じ□■
車ファン拡大に尽力



小倉学園群馬自動車大学校（小倉基宏理事長・校長、群馬県伊勢崎市）は、将来を担うクルマファンを増やす取り組みに尽力している。「こどもシゴト博」や「ぐんまクラシックカーマーケット」への出展など、積極的に露出の機会を増やし、若年層を中心にクルマファン拡大に取り組んでいる。

「オープンハウスアリーナ太田」（群馬県太田市）で開催されたこどもシゴト博2026では、来場した親子連れなどにクルマと触れ合う機会を提供した。教材車である「ランボルギーニ・アヴェンタドールLP700-4」と「フェラーリF430」の2台を展示し、普段見ることのないスーパーカーを前に多数の来場者が記念撮影を行った。また、塗装作業などで使用するエアーガンを活用したゲームも提供し、子どもたちがチャレンジして楽しんだ。

「Gメッセ群馬」（高崎市）で開催されたぐんまクラシックカーマーケット2026では、同校が所有するホンダ「NSX」とフォード「モデルT」を展示したほか、実習用に導入した最新のVR（仮想現実）塗装シミュレーターの体験コーナーを設け、学校のPRを行った。今年度から車体整備の実習授業用に導入したVR塗装シミュレーターは、VR空間に表示したドアパネルなどにスプレーガンを模したコントローラーを握って塗装ができるシミュレーターで、国内で導入している自動車専門学校は同校だけということもあり、体験を楽しむ来場者でにぎわった。

越生自動車大学校

□■にぎわいをみせた□■
オゴセオートサロン



越生自動車大学校（一川高一理事長）は、2日間にわたり学園祭「オゴセオートサロン2026」を開催した。地域住民や小中高校生を中心に約3千人が来場するなど、終日にぎわいをみせた。

同イベントは、通算5回目の開催となる。初日は学生とその家族を対象にした前夜祭として開催し、2日目を一般開催とした。そして、県内自動車ディーラー3社の初協賛出展など、さらなるイベント内容の充実を図った。また、前回初共催となった隣接するおごせ自動車学校では、教習所内において16歳以上で免許を持っていない人を対象に実車運転体験を開催するなど、より一体感を持った形での参加となった。

同校の市川剛士学校長は、今回のオゴセオートサロンについて「車の楽しさを地域の方々、若い方々に伝え、業界をさらに盛り上げていく発信地になることを目指した」とし、「来場者に自動車の魅力を体感してもらえる企画がより充実した」と述べた。

最も人気のあるチューニングカーやカスタムカーに同乗体験できるコンテンツには多くの来場者が整理券を求めて列を作り、開始15分で完配となった。

今回初出店となるネッツトヨタ東埼玉、日産プリンス埼玉、埼玉ダイハツは、スポーツカーや最新モデルを展示したほか、各ブースでは抽選会や小型モビリティの走行体験なども実施した。

また、子ども向け自動車整備士体験も継続して実施した。4歳から高校3年生までを対象に年齢ごとに合わせたプログラムを用意した。



国土交通大臣指定　文部科学大臣認定「職業実践専門課程」
学校法人 小倉学園 専門学校 東京自動車大学校
〒125-0002　東京都葛飾区西亀有3-28-3
ホームページ
グループ校　早稲田美容専門学校／新宿医療専門学校



国土交通大臣指定　文部科学大臣認定「職業実践専門課程」
学校法人 小倉学園 専門学校 群馬自動車大学校
〒379-2215　群馬県伊勢崎市赤堀今井町1-581
ホームページ
グループ校　早稲田美容専門学校／新宿医療専門学校

これからの自動車産業界を担う、新時代の技術者・整備士の育成に取り組んでいます。

新しい自動車整備士資格制度を見据え、教育環境の改善を進めています。


「実習センター」：自動車業界の変革期に対応できる最新の施設・設備が充実!!


「モータースポーツセンター」：モータースポーツを通して幅広いクルマの知識を深める場!!

二級自動車整備士養成課程
自動車工学科
修業年限2年｜男女共学

一級自動車整備士養成課程
専攻科
修業年限2年｜男女共学

文部科学省認可・国土交通省認定
TAKAYAMA College
高山自動車短期大学

整備士養成学校　トピックス





東京自動車大学校
□「サーキット講座」で豪華なクルマ体験□



小倉学園（藤田幸司校長）東京自動車大学校では、「サーキット講座」を毎年開催している。広大なサーキットを貸し切り、プロのレーシングドライバーの講習の下、豪華なクルマを体感できる夏休みの特別実習となっており、学生から人気の実習として定着している。

今年も筑波サーキットで8月の上旬と下旬で2回にわたって開催し、合わせて100人の学生が参加した。上旬のプログラムは、ジムカーナ場にてトヨタ「86」、ホンダ「S2000」、マツダ「ロードスター」、ホンダ「インテグラタイプR」などさまざまな車両を用意して、ABS制御や定常円旋回、スラローム走行を行い、FF・FR・4WDの車両それぞれの挙動の違いを体感した。加えて、プロドライバーかつ同校の卒業生である岩本瞬さんなどを招き、ランボルギーニやフェラーリ、ポルシェといった豪華な車両で同乗体験を行った。

下旬のプログラムでは、コース1000を貸し切り、トヨタ「ヴィッツ」とホンダ「インテグラタイプR」などベーシックな車両を使用して、ドライビングレッスンやコースのライン取りやグリッピングポイントを学ぶ慣熟走行など走行の基本を習った。そのほか、プロドライバーを招き、スーパーカーの試乗を体験した。同校はこうした取り組みを通じて、学生にクルマの魅力を感じてもらうべく、今後も行っていくとした。

東京工科自動車大学校
□〝AI講師〟で留学生の日本語教育□



小山学園（山本匡理事長）は外国人留学生の日本語力向上のため、2026年4月からAI講師システムを導入した。

同校では外国人留学生の増加に伴い、日本語力に関するさまざまな課題を抱えていた。特に、自動車整備に関する専門用語の習得や習熟度の差、そして教員の人的負担の軽減の解消を目的としている。

同システムはスマートフォンから利用でき、語彙練習と実践会話の2モードを搭載。語彙練習モードでは自動車整備や学校生活に関する180以上のワードをクイズ形式で習得していく。語彙の中には同校オリジナルで追加している語彙もあり「塗装が剥離する」「シリンダの摩耗」「金属を溶接する」など自動車整備に関連する語彙も習得することができる。これにより、就職後も即戦力となる人材の育成にもつながる。学習進捗は教員が管理しており、進捗状況が良い学生には表彰を行いモチベーション向上につなげている。

そのほか同校は、「留学生サポーターズクラブ」という外国人留学生を奨学金という形で支援する企業団体を25年から設立した。より優秀な外国人留学生を業界へ定着させるため、企業説明会や情報交換会の実施を通して、学生の就職先確保と企業の人材確保の双方の支援につながる取り組みをしている。

同校は、外国人留学生の増加を見通し、今後も手厚いサポートを推進していく。

高山自動車短期大学
□地元の「高山祭」で活躍して伝統支える□

高山自動車短期大学（坂井歩学長、岐阜県高山市）の学生たちが地元の伝統行事「高山祭」に参加し、屋台（山車）の曳き手などとして活躍している。人口減少などで祭りの担い手確保が課題となる中、若い力が伝統行事を支えている。

高山祭は市内の日枝神社と櫻山八幡宮の例大祭で、毎年4月中旬と10月上旬に開催される。豪華絢爛な屋台が市中心部を巡るのが特徴で、2016年にはユネスコ（国連教育科学文化機関）の「無形文化遺産」に登録された。祭を見物に訪れる人も多く、今年春は2日間で約17万人が訪れたという。

高山自動車短大では、昔から学生たちが屋台の曳き手として高山祭を支えている。学生たちは伝統装束に身を包み、屋台を中心とした行列に参加する。学内で参加者を募集すると多くの学生からすぐに手が挙がり、外国人留学生の参加も珍しくないという。



全国各地の祭と同様、高山祭も人口減少などで担い手の確保が課題となっている。高山祭を長年見ている同大職員は「多くの学生たちが喜んで参加してくれてありがたい」と話す。同短大は自動車好きの若者が全国各地から集まる。そうした学生たちが高山、飛騨の伝統文化について理解を深め、地域住民や観光客と交流を深める機会にもなっている。これからも若い力で伝統ある祭を支えていく考えだ。

日本工学院　八王子専門学校
□メーカーや販売店と連携して特別授業□



日本工学院八王子専門学校（中村英詞校長）は、自動車メーカーや販売店などの企業と連携した産学連携の特別授業を行っている。

8月にはBMWジャパン（上野金太郎社長、東京港区）と、村内外車センター（村内健一郎社長、東京都八王子市）の他計9社の企業と連携して「BMW DAY 2026」を開催した。

同授業では複数グループに分かれ、車両装備や機能説明、ボディー構造解説、そして試乗体験を行った。中でも診断システムや、EV車両の解説、試乗体験では、BMWジャパンの最新技術や普段触れる機会の少ない車両を間近で体感することができ、参加した学生にとっては貴重な体験になった。

当日は自動車整備科の1年生や1級自動車整備科の学生約100人の学生が参加した。企業担当者から直接学ぶことで、自動車技術への興味をさらに深め、未来の自動車整備士としての視野を広げる機会となった。

同校は他にも企業と連携した特別授業を年間通して複数回行っている。学生たちにさまざまな車に触れる機会を創出することに加え、就職先など将来の進路相談の一助となることも目的の一つとしている。今後も企業との連携を強化し、特別授業の促進を行っていく。

日産京都自動車大学校
□学生フォーミュラのEVクラスに挑戦□



日産京都自動車大学校（松川健一校長）の学生フォーミュラチーム「NATCK-F」は、日産自動車の電気自動車（EV）「リーフ」のモーターとインバーターを搭載したマシンで、「第24回学生フォーミュラ日本大会」のEVクラスに挑戦した。

今年度の車両は、前年参戦車両を改良したマシン。最新のリーフが採用する「ルミナスターコイズ」に塗装したカウルが目を引く。改良点としては新たにスタビライザーを搭載して走行安定性能を高めた。さらに、EVは温度管理が重要となるため、冷却性能を高めるエアダクトを追加した。

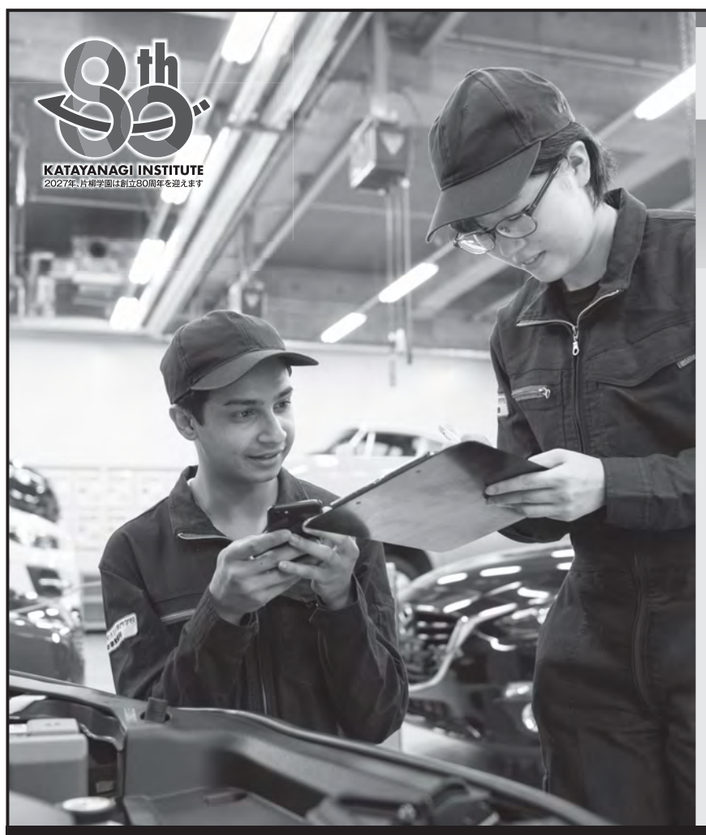
安全管理では、授業で学ぶEVやハイブリッド車の知識が生きる。配線の取り回しにも、実車のEV整備を理解しているからこその無駄のなさが表れているという。

「アクセラレーション」「スキッドパッド」「オートクロス」の3種目でしのぎを削り、全種目で完走を果たした。

チームリーダーの菅起人さんは、「完走できたことが想定以上の成果で、何よりの喜び。チームをまとめ、一つの目標に突き進む中で、リーダーシップやメンバーの活かし方を学べた」と手応えを語る。サブリーダーの五百蔵太希さんは「悩み、苦労しながら仲間と共有することで、一段階上の人間力が身に付いた。皆で挑んでレベルアップし、壁を越えてほしい」と後輩へエールを送った。



・文部科学大臣認可「職業実践専門課程」　・国土交通大臣指定
TTC 専門学校 東京工科自動車大学校　中野校｜世田谷校｜品川校
入学相談室
0120-1969-04　Web https://car.ttc.ac.jp/　Mail info@ttc.ac.jp
〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3　TEL：03-3360-8855　FAX：03-3360-8867



ミライのモビリティ社会を支える
新世代のメカニックをめざす！
8th 88 KATAYANAGI INSTITUTE 2027年、片柳学園は創立80周年を迎えます
自動車整備科
八王子校のみ設置／＊職業実践専門課程認定学科
※2029年4月、一級自動車整備士資格が取得できる「適格専攻科（2年制）」を新設予定

電子・電気科＊／機械設計科＊／建築学科(4年制)＊／建築設計科＊／土木・造園科＊／応用生物学科＊／フィギュア造形科(4年制)☆
☆2027年4月新設　＊職業実践専門課程認定学科

ほか 放送・映像・声優・俳優・アニメ・マンガ・ゲーム・CG・グラフィック・イラスト・インテリア・プロダクト・コンサート・ミュージック・レコーディング・ダンス・IT・AI・ネットワーク・セキュリティ・トレーナー・インストラクター・スポーツビジネス・サッカー・テニス・バスケットボール・鍼灸・柔道整復　全31学科

自動車整備科の最新情報はこちら　資料請求はこちら

オープンキャンパス+体験入学
11/8(日)　12/13(日) 以降順次開催

日本工学院八王子専門学校　入学願書受付中!!
〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1　0120-444-700　https://www.neec.ac.jp/
@nihonkougakuin　@neec_official　@nihonkogakuin　@nihonkogakuin_official
姉妹校：東京工科大学/日本工学院専門学校/日本工学院北海道専門学校